

第3回居住性能評価指針検討WG 議事メモ

A. 日時 2010年10月18日 月曜日 18:00～20:00

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 横山主査, 他6名

D. 提出資料 (提出委員名)

No.3-0 第2回居住性能評価指針検討WG 議事メモ案

No.3-1 風による振動

No.3-2 人間の動作による床振動の評価に関する最新情報

No.3-3 道路交通による振動

No.3-4-1 振動感覚, 評価

No.3-4-2 鉄道振動文献リスト

No.3-5 工場などの生産機器による振動

No.3-6 建設工事による振動

E. 議事内容

0. 居住性能評価指針の増刷

- ・ 現行指針の残部が100部程度であり, 学会では増刷を予定しているが, 増刷部数を決めるため, 現行指針改定の時期について問い合わせがあった。
 - 2015年頃の改定を予定すると回答した
 - 増刷前に現版の軽微な誤りを修正する機会がある予定

1. 議事メモ確認

- ・ 議事メモ案 (資料 No.2-0) が承認された

2. 「現状と規準」に関する宿題

2-1. 風 (資料 No.3-1)

- ・ 資料の下線部は当時課題として挙げられていたもの
- ・ 上記課題への現指針での対応の確認は次回までに行う

2-2. 人間の動作 (資料 No.3-2)

- ・ 当該部分に関する「現状と規準」後の研究のまとめ

2-3. 道路交通 (資料 No.3-3)

- ・ 当該部分のうち記述が現状に合わない箇所の抽出

2-4. 鉄道 (資料 No.3-4-1,-2)

- ・ 当該部分のうち記述が現状に合わない箇所の抽出
- ・ 関連文献の検索結果の提示
 - 実測結果は各企業の技術報告集等にも多く掲載されているはず

2-5. 工場など (資料 No.3-5)

- ・ 当該部分の内容のまとめと記述が現状に合わない箇所の抽出
 - 「現状と規準」後の新たな知見は少ないのでは

2-6. 建設工事 (資料 No.3-6)

- ・ 当該部分のうち記述が現状に合わない箇所の抽出
 - 解体工事の事例があれば含めたほうがよいのでは

→近年使用されている建設機械の種類について再整理が必要

3. 今後の進め方について

- ・評価指針と設計指針を分けてそれぞれに特化させ、また互いを補完する形で考えることを確認した
- ・対象とする振動源を見直すべきとの意見があった
- ・新たな評価指針を、現在の指針や「現状と規準」のように振動源を意識した形とするか否かについて意見交換した

4. 次回の議題

- ・各担当分について「現状と規準」後の研究・動向をまとめて報告する
 - －まとめ方の参考：資料 No.3-2
 - －「地震」を対象に担当者を決定
 - －特筆すべきものがない場合はその旨報告する
 - －30周年シンポジウムで「10年間の進歩」として話題提供することも念頭に置く
- ・近年の地震の研究紹介を行う

5. 次回開催予定

次回委員会は、2011年1月28日（金）18時00分から本会会議室で開催予定